博多湾の窪地埋め戻し工事のお知らせ

博多港では、大きなコンテナ船やクルーズ船などの航行の安全を確保すため、航路（船の通る道）などの海底の土砂を掘る工事を行っています。その掘った土砂を有効利用して愛宕浜沖の海底にある窪地を埋め戻す工事を行います。窪地を埋め戻すことにより、博多湾の水質・底質や生物の生息環境の改善を図ります。皆様方のご理解をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

1. 工事予定期間 ： 5 月中旬～9月下旬

※上記期間と下記スケジュールの予定ですが、気象等の影響により変更する場合があります。

2. 工事内容と予定スケジュール

工事内容	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	主に作業する船
濁りを防ぐ膜や灯浮標を設置			設置	灯浮標点灯期			撤去	のり養殖期間			クレーン船
埋め戻し工事											土砂運搬船 埋め戻し船

※夜間は航行船舶の安全確保のため灯浮標が点灯しています。

3. 工事箇所と作業船および航路を通る大型船

【埋め戻し箇所　位置図】

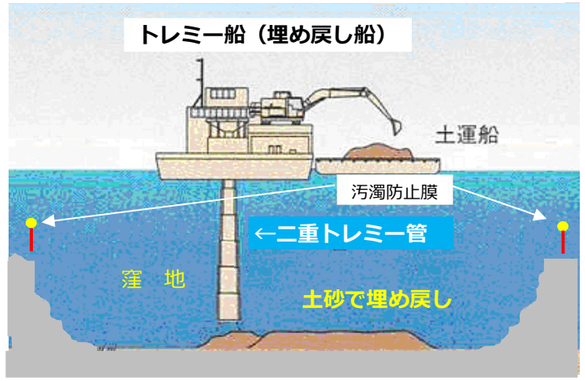


4. 窪地を埋め戻す方法

・港の整備で発生する土砂をトレミー船という船で“窪地”へ入れます。

・トレミー船は「二重トレミー管」という筒を海底まで伸ばし、できるだけ濁りが出ないように土砂を入れる作業船です。

・窪地の周りには、“汚濁防止膜”というカーテンを張り、環境に配慮して工事を行っています。



埋め戻し方法のイメージ図

5. 博多湾の窪地の埋め戻しについて

【背　景】

・博多湾の百道浜沖と愛宕浜沖には、昭和 50 年代後半に埋立事業のために海底土砂を採ったことから“窪地”（大きな穴）が２つできました。【埋め戻し箇所　位置図】

・窪地の中は、海水が澱み周辺の海水と混ざりにくく酸素が運ばれないため、酸素が足りない状態となり、魚などが生息しにくい環境になっていました。

【埋め戻しの目的】

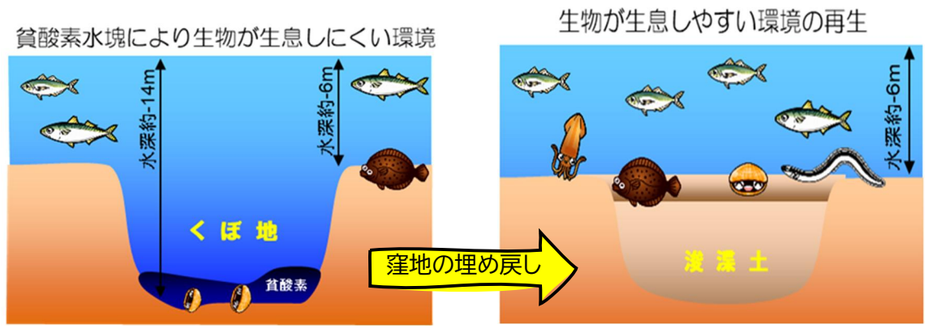
・博多湾の環境を改善するため、環境や水産の関係者で話し合い、博多港の整備で発生する土砂を有効利用して、窪地を“埋め戻す“ことになりました。

・百道浜沖窪地の埋め戻しは、平成 23 年度に着手し、平成 27 年 9 月に完了しました。

・愛宕浜沖窪地の埋め戻しは、平成 28 年度に着手し、現在も継続中です。

【埋め戻しの効果】

・百道浜沖の窪地があった場所では、埋め戻しが完了した後、海底周辺の水中の酸素量が増え、生物が生息しやすい環境に改善しました。また、ヨシエビ、シャコ、タイワンガザミなどの多くの魚介類が見つかっており、生物が生息しやすい環境の再生となっています。



埋め戻しの効果のイメージ図



埋め戻し後に見つけた魚介類

6. 問い合わせ先

国土交通省　九州地方整備局　博多港湾・空港整備事務所　保全課
住所：福岡市中央区大手門２丁目５－３３　　電話：０９２－７５２－４３６５
ホームページ：https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/hakata/01_hakata_port/01_12.html